

2023年2月号

お正月
夕顔



月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4
	ゴルフ		数合わせ	節分	すごろく
6	7	8	9	10	11
体のふしぎ	習字	玉玉ゲーム	macoさんクラリネット音楽会	絵手紙	イントロ & 歌クイズ
← 季節風呂(大根風呂) 6日~11日まで開催 →					
13	14	15	16	17	18
ものづくり	はじき絵	頭の体操	風船バレー	投げしてみよう	ボーリング
20	21	22	23	24	25
民謡教室	カレンダーづくり	ピンポン	ヒットパレード	すごろく	リアンさんマンドリンアンサンブル
27	28	2023年2月レク予定			
みずたまさん歌&ピアノ	壁飾りづくり				

広島名所案内

今月は広島にいとたいていは一度ならず訪れる機会があるであろう大変に有名なお食事処をご紹介します。その名もずばり「山賊」さん！正式には「いろり山賊」と言います。わたしも初めて訪れた時はちょっと目を見張りました。なにせ山の谷間のあちらこちらに赤い毛氈で席が設えられていて、そのすぐ側には杉だかなんだかの樹が立っている。提灯は大小取り混ぜ煌々としてるし何処かから水が流れるような音が聞こえてくるんですから。今は玖珂店・錦店の二箇所五店舗で営業中。中でもおすすめは錦店にある一燈銭というお店。本店の周りにおびたしい数の小屋が配置され、冬は足湯が、夏はあたり一面のホテルがとっても素敵。そしてなんと出ても出てくるお料理！その中でも絶対食べて！と言いたいのは「皇牛(すめらぎぎゅう)」！世界を魅了する日本の「霜降り肉」の元祖DNAをもっている山口県見島の天然記念物「見島牛」と黒毛和牛の交配種なのです。そしてこの皇牛が食べられるのはこの「山賊」さんだけだそう。東京でも食べられないとか。ぜひ！

サンシャインは優しさとお出掛けの思い出を大切にしています。



最新情報をお届けします。

サンシャイン・ホームページのQRコードです。ブログでデイサービスの出来事など紹介しています。スマホで読み取って御覧ください。

先月の行事



今年のデイの第一弾行事、1月のお正月行事は「獅子舞」です。踊り来る獅子に利用者様の頭や痛い所を噛んでもらい、厄払いしたり無病息災・疫病退散を願いたい！そんな思いで新年の行事を行いました。まずは厳かな雰囲気の中、鈴をシャンシャン、扇子をひらひらと泳がせながら巫女の舞が始まります。次いで獅子舞が登場です。獅子を舞わせたら右に出る者がないと評判の職員が獅子頭をひっぺり、利用者様一人ひとりの頭や膝などの痛い所を噛んで噛んで噛み歩きます。利用者様も痛みを治してもらいたい一心で「次はここを噛んで！」と大声で請われます。獅子舞には大きく分けて二つの系統があり、西日本では2人以上で1匹の獅子を演じる「伎楽(ぎがく)系」が、関東、東北地方などでは主に1人で1匹を演じる「風流系」が主流です。サンシャインの獅子舞は1人で1匹を演じる風流系。予算が大きくものを言うのです。でも舞いを演じる職員さんの動きは抜群！少々の息切れの音と「もうええじゃろ？」の声は何度も聞こえて来ましたが、ご利益たっぷりでした。今回も材料はもちろんダンボール。加工しやすく軽くて丈夫。それになんと言ってもタダ。企画・製作はタダには目のないダンボーラー原田ですもの！

サンシャイン情報局

さて今月は今年1月10日に発売されて以来、巷を沸騰させてやまない書籍『102歳、一人暮らし。』(文藝春秋)の著者である石井哲代さん(102歳)をご紹介します。哲代さんは1920年4月29日、府中市上下町に生まれ、20歳で小学校の教員になられ、26歳で同じく教員だった良英さんと結婚。農家の嫁としてまた教員として頑張られました。でもお子さんはなく、83歳で夫を見送った後は、尾道市美ノ郷町で一人暮らしをされています。100歳を迎えてまもなく、中国新聞に哲代さんの連載記事が始まったそうです。それが昨年(2022年)5月に連載終了し、それをまとめたものがこの書籍だそう。注目を浴びているのはこの本の中で展開されている哲代さんのユニークな人生への取り組み方。その中から人生を引き立てる「さしすせそ」をご紹介します。「さ」びない鍬でありたい。「し」習慣がわたしを支えてくれます。「す」きなように生きる。「せ」つない気持ちは日記にちょびっと。「そ」の日、その時を全力で。わたしが大好きなのはもちろん「す」。哲代おばあちゃんのように「気の向くままでございます」と生きていきたいな。

